

請願第 1 号

18歳までの医療費の無料化を求める請願

紹介議員 小林 卓 矢

(請願趣旨)

恵庭市の調査によると、現在子どもの人口は減少傾向にあり、令和5年の年少人口は11.9%まで落ち込んでいます。令和4年度の合計特殊出生率も過去最低の1.30（国は1.20）であり、子育て世代にとって出産および子育てはますます厳しい状況にあることが分かります。

18歳までの医療費助成が道内133市町村まで拡大しており、札幌市では令和6年4月から中学生までの入院・通院費の助成が開始され、令和7年4月からは高校生までの拡大が予定されています。一方、恵庭市では中学生までの入院費の助成の他、令和4年に小学校6年生までの通院が助成対象となり、令和6年10月2日の厚生消防常任委員会において、令和7年4月から通院費は中学3年生まで、入院費は高校3年生まで助成を拡大することが報告されましたが、依然として高校3年生までの通院費は助成対象外とされています。

恵庭市議会においては、高校生までの通院費助成を拡大した場合、高校生の受給対象者数は約2,000人で助成額は約2,700万円と推算しました。

恵庭市の未来を支える子どもたちが安心して生活でき、そして少子高齢化の流れを少しでも抑制するには子育て世代の負担軽減は必要不可欠であり、助成の更なる拡充や、所得制限の撤廃など、早急な対策が求められます。

(請願事項)

所得制限を無くし、子ども医療費（通院・入院）の18歳年度末までの無料化を求めます。

令和7年6月27日

恵庭市議会

議長 川 原 光 男 様

請願者 子育て支援策の充実を求める恵庭市民の会

代表 磯 部 典 哉

住所 恵庭市白樺町3丁目15-15

外676人